



写真中央：両宮山古墳
(赤磐市穂崎・和田)

びぜんこくぶんじあと
—備前国分寺跡—

りょうぐうざんこふん
—両宮山古墳—

しせき 史跡だより 第5号

岡山県赤磐市教育委員会 平成25年9月1日発行

特集 史跡 びぜんこくぶんじあと 備前国分寺跡を知ろう！！



Q. 国分寺ってなに？

A. 天皇の命令によって一斉につくられたお寺で、日本には約 60 ヶ所しかないんだよ。

Q. 国分寺はいつできたの？

A. 国分寺は今から 1250 年以上も昔の、700年代の中頃、奈良時代につくられたんだ。今の奈良市に都(平城京)がおかれ、都に各地から人や物が集まった時代だよ。

Q. 国分寺にはどんな建物があったの？

A. 中心に仏像が置かれた金堂があって、隅には高さ 60m以上もある七重塔が建っていたといわれているよ。さらに、敷地のまわりには、塀がめぐらされていたんだ。上の図のように柱は赤く塗られ、壁は白く塗られた、たくさんの鮮やかな建物があったんだ。

Q. 国分寺ではなにをしていたの？

A. 当時は米の不作や病気が流行ったり、権力闘争がおきたりしていたから、国が平和であるようにお祈りしていたんだ。ほかには、各国内の寺院や仏教をまとめる役割もあったんだ。

〒709-0816 岡山県赤磐市下市 337 番地 TEL086-955-0710

URL:<http://bunkazai.akaiwa-rekishi.jp/>

史跡シンポジウム“発掘が語る備前国分寺と奈良時代” 開催案内

昨年度をもちまして備前国分寺跡の発掘調査を一旦終了しました。そこで、この機会に備前国分寺跡についてさらに知っていただくため、「備前国分寺と奈良時代」というテーマでシンポジウムを開催することになりました。国分寺研究の第一線の先生方をお招きします。国分寺について知っていただくチャンスです。お気軽にご参加ください。

日時：平成25年9月28日（土）13：00～16：45

会場：赤磐市立中央公民館2階大集会室（赤磐市役所東）

プログラム：【報告】「備前国分寺跡の発掘調査」 市職員

【講演】「赤磐に備前国分寺が造られた理由」 伊藤 晃（第二次山陽遺跡整備委員長）

【特別講演】「国分寺と東大寺・聖武天皇」 吉川 真司（京都大学教授）

【パネルディスカッション】「備前国分寺と奈良時代」

コーディネーター 亀田 修一（岡山理科大学教授）

パネリスト 狩野 久（奈良文化財研究所名誉研究員）

講演者、報告者

申込：事前申込不要（先着240名）、入場無料

“徹底解説”「国分寺建立の^{みことのり}詔」

当時の天皇である聖武天皇が天平13(741)年、全国に国分寺を造るよう命令したと一般的にいわれている「国分寺建立の詔」についてくわしく見てみよう！！

文章冒頭には、米の不作や疫^{えきびょう}病の流行で国家が安定しないので仏像を造ったり、写経をしたりして、一切の災^{わざわい}いや障害を取り払いたいといった仏教による国家鎮護^{こくかちんご}を謳^{うた}っている。

そこで全国に命じて七重塔一基を造り、あわせて経典^{きょうてん}を写させた。七重塔を造る寺は、その国の精華ともいべきものであるため、必ず良い場所を選んで建立するように述べている。

国ごとの国分（僧）寺には必ず20人の僧を、尼寺には尼10人を住まわせなければならない。国分（僧）寺の名は金光明四天王護国之寺^{こんこうみょうしてんのうごこくのてら}とし、尼寺の名は法華滅罪之寺^{ほっけめつざいのてら}とすると書かれている。

以上の内容は、平安時代初期につくられた歴史書の『続日本紀^{しよくにほんぎ}』という書物に書かれている。

- ◇ 聖武天皇は仏教の力によって国を治めようとしたんだ。
- ◇ 国分寺の正式な名前は、「金光明四天王護国之寺(こんこうみょうしてんのうごこくのてら)」というんだ。
- ◇ 国分寺には、七重塔を造るよう命令したんだ。
- ◇ 国分寺は必ず良い場所を選んで造られたから、備前国分寺も古代の山陽道沿いの人の行き交う場所に造られたんだよ。
- ◇ 国分寺には男のお坊さんが20人住んで修行をしていたんだ。
- ◇ 国分寺は奈良時代の社会にとって大切なお寺だったんだよ。



しせきはかせ
史跡博士